



## 「なぜ?」と考える前に...

1年6組担任 梨木冴子

教員になって間もない頃に、はじめて担任を任されたクラスで、ある男子生徒と出会いました。彼は、勉強が嫌いで、部活がしたいからこの学校に入学してきたのだと私に話しました。

2学期、授業にもついていけなくなり、楽しんでた部活もやめ、「学校をやめたい」と口にするようになりました。面談をしても、状況は変わることはありませんでした。

なんとか2年生に進級した彼が、日本史のテストで高得点をとったことがありました。わたしはびっくりして、彼に話を聞くと「日本史の授業、一回ちゃんと話を聞いてみようと思ってん。そうしたらだんだん面白くなってきた」とのこと。話を聞いてみる理由は特になかったそうです。

3年生になり、進路を決める時期に彼がたてた目標は「社会科の先生になる」というものでした。1年生の頃、あんなに毎日「学校をやめたい」と口にしてた彼の姿はもうありませんでした。

卒業後、在校生にスピーチをしてくれた彼が語った言葉を紹介します。

「まずは自分でやってみることで、変わることがあります。  
なんでも楽しもうという気持ちをもってください。」

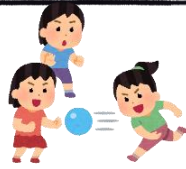
わたしも、ちょっと心がしんどいなという状況が続いたときは「なんで〇〇をしないといけないのだろう」と、「なぜ」の部分にこだわっている自分に気づくときがあります。そんなとき、彼の言葉を思い出して、「理由よりも先にまずはやってみる、なんでも楽しもう!」という考え方に立ち戻るのです。

毎日寒い日が続いていて、ベッドから起き上がるのもエネルギーが必要ですね。でもそんなとき、「とりあえず学校に行こう。」「今日はちょっと真剣に授業を聞いてみよう。」それで十分なのかもしれません。

自分で行動してみた先の「楽しさ」に気づいたとき、もうそれまでの自分とは違う自分になっているはずです。

最後に、百人一首大会に向けて、休み時間にひとつでも多く暗記しようとしたり、放課後残って練習したり、147回生には「なんでも楽しもう!」とする人たちが多くいて嬉しい気持ちになりました。高校生活は本当にあっという間です。今しかない時間を大切に過ごしてください。

# 球技大会



3/5(Thr)晴天の中、実施しました。明るく元気のよい声が、終始グラウンドに響き渡っていましたね。147回生は、やはり最高です。生徒会庶務の皆さん、朝早くから準備してくれてありがとう!

男子 フットサル

👑 第1位 4組  
第2位 6組 第3位 3組

女子 ドッジボール

👑 第1位 7組  
第2位 2組 第3位 1組



# 百人一首大会



3/10、季節外れの百人一首大会(本戦)を実施。各クラスの代表、「神セブン」の戦いは、上の句で勝負が決まるハイレベルな戦いでしたね。

クラスの部

👑 第1位 1組  
第2位 7組 第3位 2組

個人の部

👑 第1位 7組 A・M  
第2位 1組 N・Y 第3位 6組 A・Y



兵庫県あるある

百人一首、78番「淡路島 かよふ千鳥の 鳴声に 幾夜ねざめぬ 須磨の関守」これは覚えやすい、取りたい!盛り上がる!盛り上がった!

編集者の独り言

取った札の数を入力しながら、気づいたことがある。それは…、星陵台中学校と長坂中学校の卒業生が強い!ということ。「100枚詠まない百人一首は百人一首ではない!」とクレームがありましたので、来年度は100枚でやります。乞うご期待。